# 道程

西東京市立ひばりが丘中学校
第３学年
第１５号
令和７年６月１０日発行


運動会が終わり、修学旅行の事前学習が貼ってあったパネルが、上級学校調べに変わりました。部活動を引退した人も出てきて、少しずつ受験生としての自覚が芽生えているのではないでしょうか。高校のオープンスクールに足を運んだり、外部の模試を受けた人も出てきました。６月１３日には進路説明会があります。上級学校について、もう一度確認していきましょう。そして２３日から始まる期末考査は進路にも関わる大切な試験です。計画的に勉強を進めてください。

修学旅行についての学年だよりはこれで最後です。最後はＥ組の作文を紹介します。

「貴重な三日間」

Ｅ組

「行ってきます。」

そういって僕は家を出た。今回の修学旅行は、僕にとってとても充実した三日間になった。

一日目、みんなと楽しく新幹線で移動して飛鳥に着いた。そして入村式。僕はどんな人がホストファミリーになるのか、怖い人だったらどうしようなど不安だったが、そんな心配はいらなかった。ホストファミリーの方はとても優しく、楽しく飛鳥を見学できた。民家に着くと、部屋の裏に川があり、ホストファミリーが見守ってくれてそこで遊ばせてくれた。夕飯も自分が知らないものばかりでどれもおいしかった。一日目から「最高。」と思った。

二日目、ホストファミリーの方に風の舞台まで送ってもらい、そこからクラスで法隆寺に行った。自分が知っている東京のお寺よりも何倍も広くて驚いた。東大寺からは班別行動。動画で見た金剛力士像の実物はとても大きく、目力が強く、ずっと東大寺を守ってくれていたんだなと思った。それから伏見稲荷大社もまわり、二日目はどれも驚くことばかりだった。

二日目、僕たちの班は清水寺に行った。清水寺までは上り坂が長く大変だった。しかし、坂道を上りきった時には壮大な景色が目の前に広がった。中に入った時は、日本の歴史を感じることができた。

今回の修学旅行で、東京だと味わえない日本の歴史を学ぶことができた。普段経験することができないことだから、この思い出を大切にしようと思う。

「修学旅行を終えて」

E 組

今回の修学旅行を終えて、私にとってたくさんの初めての経験ができた３日間だったと感じている。

一日目の民家ステイ。まず民家ステイをしたことがなかったので終始とても新鮮な気持ちだった。ホストファミリーと回った様々な名所や寺では、豊富な知識で自分たちだけで行っていたら分からなかったこともたくさん教えてくださった。ホストファミリーの家に行くと、普段体験できない火おこし、焼き芋を大自然の中で体験できたのもすごく印象に残った。知らない方と二日間一緒に生活するというのに少し心配や不安もあったけれど、暖かく迎えいれてくれたホストファミリーのおかげで一生の思い出になった。

二・三日目の班行動。クラスで回っていたらわからなかったようなことが経験できたと思う。電車がずれて計画通りに行けなかった所もあったけれど、班員全員で協力して動けた。初めての場所で不安もあったけれど今回の班だったからできたことだと思う。

そして、この三日間を通して、普段は経験できないことをたくさんの方に支えてもらいながら過ごせた濃い三日間だったし、この思い出は一生残ると思う。この経験や知識を生かして日常生活につなげていきたいと思うし、思うようにいかなかったこともこれから生かしていきたいと思う。